

より賢く よりかっこよく ～「安心」と「わくわく」～

豊川市立東部中学校

2年 学年通信

No. 14

令和8年1月27日

馬力全開！ 走り出した仲間が、周りの背中を押す

現在、2月2日(月)に行われる学力診断テストに向けて、「みんなで頑張ろうとする雰囲気づくり」と「準備の仕方の習得」をねらいとして、学習に関する企画「馬力全開！！ みんなでダービー」を絶賛開催中です。5教科の復習プリントを、難易度別(A:基礎、B:発展)に、3週間にわたって週替わりで廊下に用意しています。

「仲間が頑張っているから自分も頑張れる」「仲間がやりはじめたから、自分もやってみよう」さまざまな場面で、そのような思いを抱いた経験はないでしょうか。先週、今週と、多くの生徒が自主的に復習プリントを手取る姿が見られました。また、休み時間の様子を見ると、時間を有効に使ってプリントに取り組む姿や、そこに加わり、仲間と教え合いながら学習に取り組む姿も見られます。学習は、最終的には一人で頑張るものです。しかし、そのきっかけをくれたり、やる気を高めてくれたりするのは、頑張っている仲間の存在であることが多いものです。企画も残り1週間となりました。一人の頑張りが仲間に関わり、その頑張りがさらに別の仲間へと広がっていくことで、学習に向かう雰囲気が学年全体に醸成されていくことを期待しています。

また、毎週、各教科のA・Bすべてのプリントに取り組んでいる人もいますと聞きました。とても意欲的な姿で、うれしく思っています。

一方で、学力診断テストは、1年生からこれまでに学習した内容と範囲が広いので、すべてを振り返ろうとすると時間が足りなかったり、何から手をつけてよいかかわからず、意欲が高まりにくくなったりする人もいられるかもしれません。そのような場合は、夏休み明けに行った課題テストや11月に行った第1回学力診断テストの結果(個票)を参考にしながら、自分の得意な教科や単元、反対に課題となる部分を把握し、ターゲットを絞って取り組めるとよいでしょう。実際に、廊下にプリントを取りに来た人からは、「社会の歴史が苦手だから」「数学の図形分野の応用力を伸ばしたい」といった声も聞かれています。用意されたプリントが物足りない場合には、自分で他の教材を探し、それに取り組むことも、よりよい学習につながります。準備の仕方は、人それぞれです。どうしたら自分の成長につながるのかを考えながら、自分に合った準備の仕方を、少しずつ身につけていってほしいと願っています。

「これは自分に合うな」「これはうまくいかなかったな」こうした経験を重ねる中で、準備の仕方は少しずつ洗練されていきます。そのために、まずは「やってみる」ことが大切です。経験からの学びが、何よりの力になります。学力診断テストという設定された枠組みを、自分の成長の契機と捉え、学習の方法そのものを学んでいきましょう。「魚をもらうのではなく、魚の釣り方を学ぶ」。一人一人が自分に合った準備の仕方を大切にしながら、仲間とともに、前向きに学習に取り組んでいきましょう。



写 真

写 真